



第82期 第2四半期

# 株主通信

2016年4月1日～2016年9月30日

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第82期（2017年3月期）第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から9月30日まで）における当社グループの業績概要と通期の見通しについて、ご報告させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役社長

会田 仁一

## 社長インタビュー

**Q.** 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください。



**A.** 中国等の新興国経済の成長鈍化、先進国経済の減速、急激な円高など、当社を取り巻く環境は非常に厳しく、当第2四半期連結累計期間の受注高は259億円（前年同期比40.3%減）となりました。売上高は、海外売上高の円貨換算額の目減り、日本やアジアにおける自動車関連向けプレス機械の売上減少といった影響により317億円（同15.2%減）となり、利益面でも、減収と円高の影響で営業利益は33億円（同21.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円（同23.3%減）となりました。

**Q. 通期業績見込みについて  
お聞かせください。**

**A.** 8月9日に発表いたしましたとおり、売上高については、大口案件の失注、既受注案件の納期ずれ込み、円高による海外売上高の円貨換算額の目減り等により、通期見込みを800億円から700億円に下方修正いたしました。また、減収等の影響により営業利益を81億円から65億円、親会社株主に帰属する当期純利益を59億円から46億円へと修正いたしました。

第1四半期で落ち込んだ、受注高、売上高、利益は当第2四半期に回復してきており、更なる修正の必要はないと考えております。また、中長期的にも、当社の主要顧客である自動車業界では排ガス規制強化や軽量化の動きがグローバル規模で進行しており、当社の高性能なプレス機械に対する需要は根強い状況で、来期以降の業績回復は十分に期待できると考えております。

**Q. 中期経営計画の進捗状況について  
お聞かせください。**

**A.** 2015年3月期よりスタートした中期経営計画も最終年度を迎えております。「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として、深化・追求する」というビジョンのもと、「市場・顧客開拓」「商品力強化」「グローバル化への邁進」の3つの重点施策に取り組み、着実に成果をあげてまいりました。

「市場・顧客開拓」では、大型サーボタンデムラインの受注や新規欧米系メガサプライヤーからの受注獲得を拡大してまいりましたが、グローバルでの競争に打ち勝つため、更なる営業体制強化に取り組んでいきます。「商品力強化」では、当社の強みであるサーボプレス

の効率化と大出力化を実現し商品競争力を向上させました。また、自動車の車体軽量化に伴うアルミ材やハイテン材など新素材への対応強化のための開発も順調に進んでおり、早期商品化に向け引き続き注力していきます。「グローバル化への邁進」では、特に生産部門において、イタリアやアメリカ工場増設に続き年内に中国工場増設が完了し、この3年間で当社グループの工場床面積は20%拡大します。同時に各生産拠点には大型加工機を追設しており、来期以降、内製化拡大と生産性向上の効果が表れるものと期待しております。

残す期間で中期経営計画に掲げた各施策の総仕上げに取り組むと同時に、これまでの取組みにおいて新たに認識された課題を検証し、来期から始まる新中期経営計画に活かしてまいります。

**Q. 株主還元についてお聞かせください。**

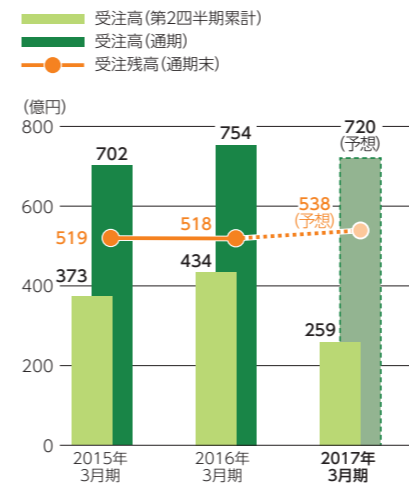
**A.** 2017年3月に創業100周年を迎えることから、1株につき10円の記念配当を加え、合計40円の配当を計画しております。既にご説明のとおり通期業績予想については下方修正となりましたが、中長期的な業績基調に変動はないと考えており、期初に計画した1株当たり40円の配当を維持する考えです。

**Q. 最後に、株主の皆さまへの  
メッセージをお願いします。**

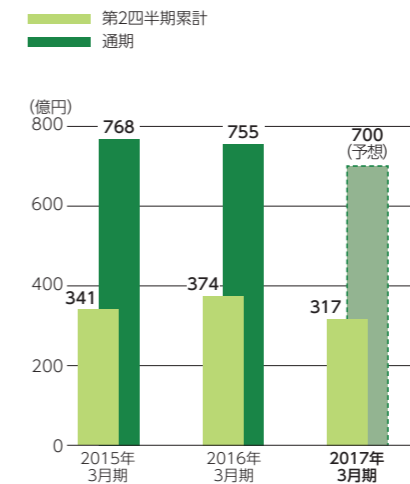
**A.** 創業100周年後もその次の100年に向け、更なる成長を目指して、たゆまぬ挑戦を続けてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**連結財務ハイライト**

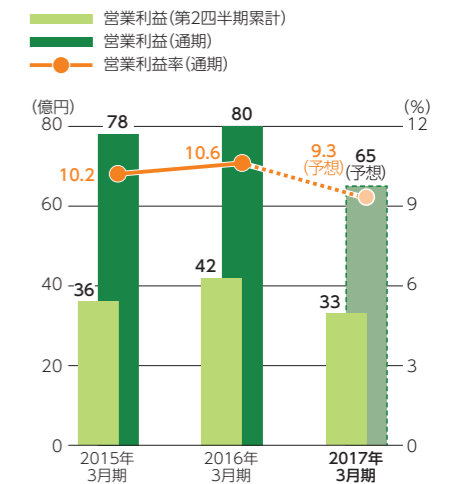
**受注高／受注残高**



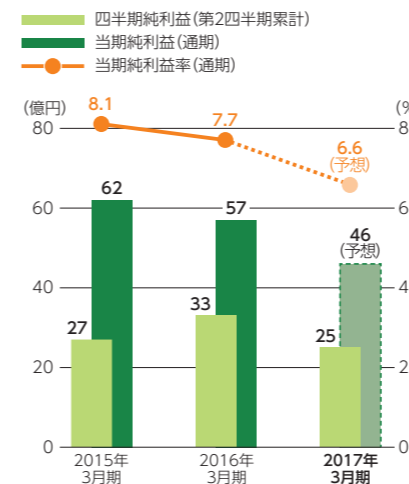
**売上高**



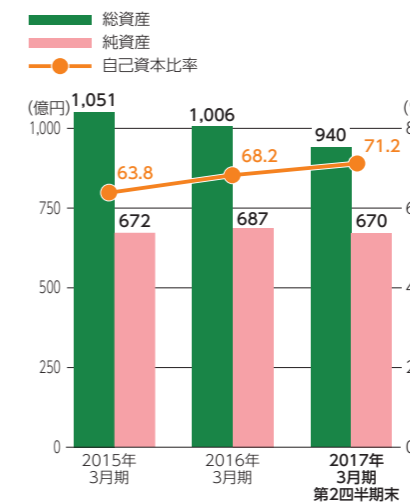
**営業利益／営業利益率**



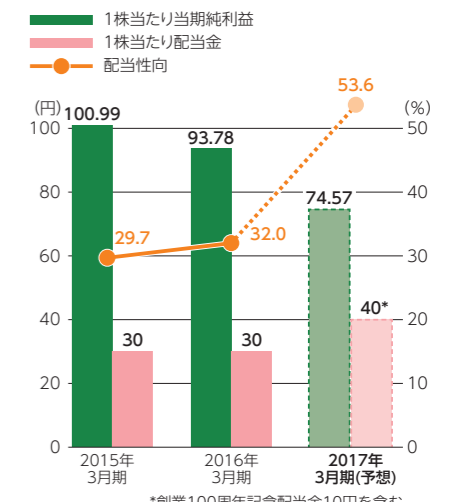
**親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益／当期純利益率**



**総資産／純資産／自己資本比率**



**1株当たり当期純利益／1株当たり配当金／配当性向**

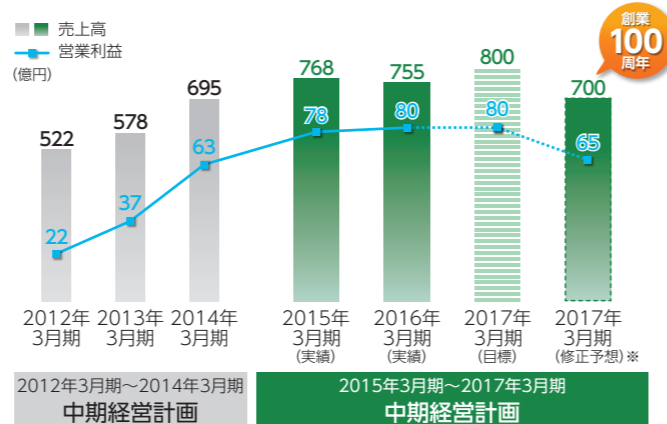


**中期経営計画の概要と業績予想 (2015年3月期～2017年3月期)**

※2017年3月期の通期業績予想を2016年8月9日に下方修正

**ビジョン** 環境・省エネをモノづくりから支える  
グローバル先進企業として、  
深化・追求する

アイダ100周年を見据えた  
成長基盤構築



**トピックス** フィアット・クライスラー・オートモービルズに  
マセラティおよびアルファロメオ生産ライン用のタンデムライン納入

フィアット・クライスラー・オートモービルズ（以下、FCA）のイタリア・ミラフィオーリ工場に納入された当社の大型タンデムラインが2016年6月に稼働を開始しました。本ラインは加圧能力2,500トンの大型プレスを手前に合計6台のプレス機械で構成されており、FCAのグループ企業であるイタリアの高級車マセラティ初のスポーツ多目的車（SUV）「レヴァンテ」およびアルファロメオのセダン「ジュリア」などの自動車ボディパネルを生産しています。

当社はFCAイタリア工場以外にもトルコやセルビアの各工場へ主要なプレス機械を納入しており、FCAグループ全体で13台の納入実績があります。豊富な経験、実績、技術力が高く評価され、今回のタンデムライン導入が実現しました。

今後も多様化するお客さまのご要望に応える成形システムを提案することにより受注拡大を目指し、持続的な成長を続けてまいります。



ミラフィオーリ工場稼働中の当社大型タンデムライン

会社概要

商号 アイダエンジニアリング株式会社  
 創業 1917年(大正6年)3月  
 設立 1937年(昭和12年)3月  
 資本金 78億31百万円  
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
 証券コード 6118  
 従業員数 1,964名(連結)731名(単体)

役員

取締役

代表取締役社長 会田 仁一  
 取締役 中西 直義  
 取締役 ヤップ テック メン  
 取締役 増田 健  
 取締役 北野 司  
 取締役 鈴木 利彦  
 取締役(社外) 大磯 公男  
 取締役(社外) 五味 廣文

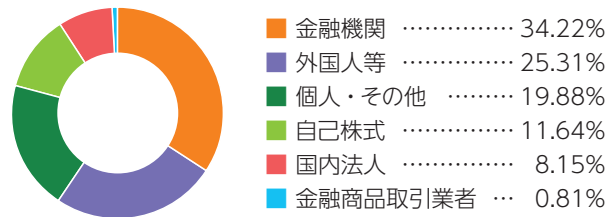
監査役

常勤監査役(社外) 松本 誠郎  
 監査役(社外) 金井 洋  
 監査役(社外) 巻之内 茂

株式の状況

発行可能株式総数 188,149,000株  
 発行済株式総数 73,647,321株(うち自己株式8,570,519株)  
 株主数 9,291名

所有者別株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
第一生命保険株式会社	4,000	6.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3,385	5.20
日本生命保険相互会社	2,533	3.89
明治安田生命保険相互会社	2,516	3.87
株式会社みずほ銀行	2,179	3.35
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,992	3.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,777	2.73
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	1,750	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,684	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,603	2.46

(注) 1. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(65,076,802株)を基準に算出しております。  
 2. 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、株式給付信託(J-ESOP)における当社株式の再信託先です。

ホームページのご案内



当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。

アイダ

検索

<http://www.aida.co.jp>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 剰余金の配当基準日 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 公告方法 電子公告 <http://www.aida.co.jp/ir/koukoku/index.html>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
- 株式に関するお問合せ先

証券会社に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社にご連絡ください。

証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

みずほ信託銀行 証券代行部  
 0120-288-324  
 (土・日・祝日を除く9:00 ~ 17:00)

株式に関するお手続き(住所・氏名などの変更、配当金の受取方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、上記をご参照ください。ただし、未払配当金につきましては、みずほ信託銀行証券代行部(フリーダイヤル:0120-288-324)へお問合せください。